

1. 題材について

(1) 〈児童の実態〉

本学級の児童は与えられた課題を、「やらなければいけないもの」「忘れてはいけないもの」と認識している。そのため、4月からほぼ毎日決まった内容及び量の課題に対してよく取り組んでいる。中には自主的に漢字練習や意味調べ、計算練習に取り組んだり、テスト範囲の学習内容を復習したりする児童もいる。しかし、多くの児童の取組は4月初めに始めた頃の丁寧さはあまり感じられず、「ただこなしている。」という様子が窺える。また、その重要性や意義まで考えて取り組んでいる児童は少なく、自分のためというよりも「決められたことだから。」「出さないと叱られるから。」といった消極的な取組が見受けられる。

(2) 〈題材設定の理由〉

本題材は学級活動(3)の「主体的な学習態度の形成と学校図書館の利用」に関わるものである。この内容は児童が学ぶことに興味や関心を持ち、自ら進んで学習に取り組むことや自己のキャリア形成と関連付けながら、見通しをもって粘り強く取り組むこと、学習活動を振り返って次に生かす主体的な学びの実現に向けた取組となる。この学習を通してこれまでの家庭学習の取組を振り返らせると共に、集団思考を生かして自分に合った効果的な学習方法や取り組むべき学習内容、学ぶことが将来の自己実現にどうつながっていくのか考えさせる。そして、学習することの楽しさや価値に気付かせ、意思決定した個人目標の実現に向けて主体的に取り組もうとする態度を養いたいと考え、本題材を設定した。

2. 事前の活動

目指す児童の姿と評価方法

- ・「家庭学習」に関わるこれまでの自分の取組について振り返っている。
 - ・自分の課題について、真剣に受け止めて考え、家庭学習の取組をよりよいものにしようと意欲を高めている。
- 〈アンケート調査〉
【関心・意欲・態度】

児童の活動(・)及び指導上の留意点(〇)

- ・当日の題材について知る。
- ・題材に関わる課題を確認し、一人一人がアンケート調査に取り組む。
- ・題材に関わる自分自身の課題や問題点について、考えておく。
- 〇題材について問題意識を高めておくため事前に周知しておく。
- 〇個々の児童が解決、改善すべき問題であることを伝え、問題意識の共有化を図る
- 〇児童の問題状況をアンケート調査で確認しておき、資料をまとめる。
- 〇保護者にもアンケートを依頼する。

事前アンケート

家庭学習の取組について

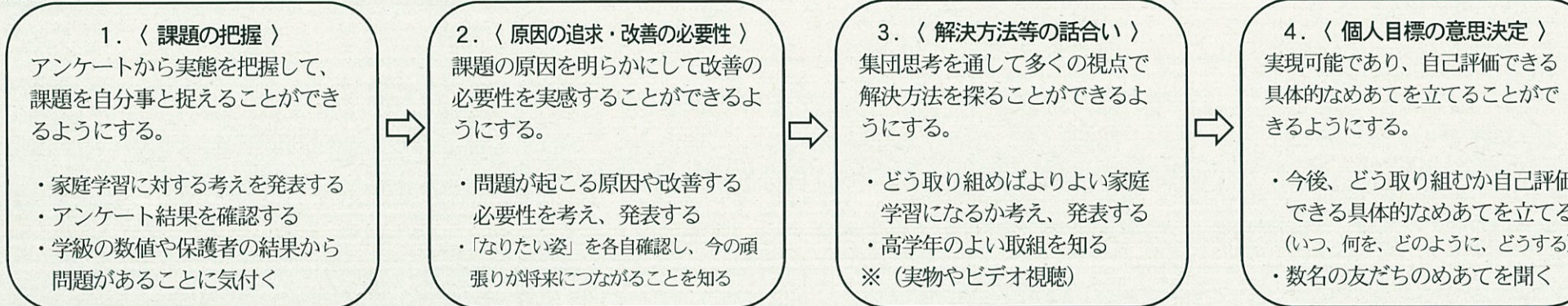
- 〇家庭学習のイメージは?
 - 〇なぜ、家庭学習をするのですか。
 - 〇家庭学習にはどのように取り組んでいますか。
 - 〇家庭学習では何に取り組むことが多いですか。
 - 〇どのような家庭学習ノートにしたいですか。
 - 〇家庭学習をしていて、困ることはありますか。
 - 〇その他(家庭学習の取組について自由記述)
- ※一部選択式。保護者アンケートも実施

3. 本時の活動

目指す児童の姿

- ・これまでの自身の家庭学習に対する取組を振り返り、今後の取組をよりよいものへしようと改善しようとしている
 - ・自分の課題を踏まえた上で、集団思考を生かして自分に合う学習方法や学習内容など具体的な行動目標を意思決定できる。
- 〈発言・観察〉【関心・意欲・態度】
〈カード・観察〉【思考・判断・実践】

〈指導過程〉



4. 事後の活動

目指す児童の姿と評価方法

- ・児童自身が意思決定したことや工夫点を確実に実践している。
 - ・実践が習慣化するように、自身の取組を正確に記録するとともに半月経過したらふり返しを行う。
- 〈プロジェクトカード・観察〉

児童の活動(・)及び指導上の留意点(〇)

- ・「家庭学習プロジェクト」として強化期間を設けて、実践活動に取り組む。
- ・各自、毎日実践の様子を正確に記録する。
- ・取組中に個人目標に修正が必要な場合は、修正する。
- ・強化期間での実践終了後に、全体的な振り返りを行う。
- 〇児童の個人目標を確認し、修正等が必要であれば指導する。
- 〇個人目標に対しての自身の取組はどうであったか、丁寧に振り返りをさせる。
- 〇期間終了後も継続した実践となるよう助言したり、保護者への啓発も行ったりする。
- 〇頑張りを認めて全体に広めたり、児童同士励まし合ったりする場を設けて、継続化に向けて意欲の向上を図る。

〈よりよい意思決定に向けて〉

- ・問題の原因及び改善の必要性を十分に踏まえた上で、「見つける」段階で様々な視点で考えを引き出す。(思考の拡散)
- ・集団思考で出された考えを分類して、実現可能である個人目標を立てる際の参考とするよう助言し、十分な時間を確保する。

11/9 家庭学習をパワーアップさせよう ～自分に合った学習とは?～

つかむ 家庭学習のイメージ

- ・やらないといけないもの
- ・毎日やるもの
- ・終わらせるに時間がかかり、大変なもの
- ・やらないと自分がこまるもの

さぐる なぜ、しっかり取り組めないのか?

- ・テレビなど見ながらやっているから
- ・やりたいことがあって、時間がないから
- ・習い事があっていそがしいから
- ・やるのが面倒くさいから
- ・何をやったらいいのかわからない

見つける 家庭学習をパワーアップさせる方法

- 始める時刻を決める 週3回は行う
- 何分で行うか決める
- 語句の意味調べ
- 計算練習を20問
- 新出漢字の予習
- テスト前に復習
- テスト後とき直す
- マスや行を守る
- ていねいに書く まちがいを直す

決める これからがんばること

- 毎日帰ったらすぐに漢字練習を3回行い、まちがいがなければ最後見直す
- 毎日宿題の他に、教科書の計算問題を解き直して、丸付けまでする。

グラフ① 「家庭学習にはどのように取り組んでいますか。」 ※保護者との比較もする。

グラフ② 「家庭学習をしていて困ることはありますか。」

〈なりたい自分になるために〉
今しっかりとコツコツやることで、将来の自分をつくることにつながる。(キャリアの視点)

「ただ終わればよいと思ってやっている?」
「家の人に言われるからやっている?」